

令和6年・保育園、こども園での 「じんけん教室」を振り返って

岐阜人権擁護委員協議会・岐山地区部会

令和6年度岐山地区部会（岐阜市委員会）では、9園で保育園、こども園での『じんけん教室』を実施し、今年の計画を終了しました。

最後となった12月16日（月）の加納西認定こども園では、12月ということもあり、園児たちと♪「あわてんぼうのサンタクロース」の歌を歌って楽しい雰囲気と、初対面の人権擁護委員との距離が縮まったところで「じんけん教室」が始まりました。

じんけん教室の最後には、人権広報大使でもある、県のイメージキャラクター『ミナモ』がクリスマス衣装で登場し、みんなでミナモダンスを踊って、楽しくじんけん教室を終えることができました。

回	月 日	園 名
1	6月21日（金）	長森北保育園
2	7月22日（月）	さゆり保育園
3	9月2日（月）	鷺山保育園
4	10月1日（火）	のりたけ保育園
5	10月29日（火）	大洞保育園
6	10月30日（水）	本荘保育園
7	11月5日（火）	沖ノ橋こども園
8	12月10日（火）	みぞはた保育園
9	12月16日（月）	加納西こども園

保育園・こども園での 「じんけん教室」の むつかしさや楽しさ！

保育園、幼稚園、こども園での「じんけん教室」を実施して、10年以上が経ちました。

当初、幼いこどもに「人権なんてとても無理ではないか」「何を伝えたらいいの」等々、委員間でも議論、検討しました。幼稚園や保育園の先生とも意見交換してきました。成功や失敗の事例、こどもたちからの思いがけない意見や感想の積み重ねがありました。



最後に、人KEN あゆみちゃん、まもる君とミナモダンスを楽しく踊りました。

保育園、幼稚園の様々な状況

園児が40～50名の小規模な保育園から200名を超える規模の大きな保育園、立派なホールを備えた園、ホールがなく急ぎょ園児が通常使用している教室でのじんけん教室、DVDを投影しようとして暗幕がない、暗くならない会場もありました。

また、園の方針や当日の都合で年少児から年長児まで一堂に会する園や年長児だけ



でじんけん教室を希望する園等様々です。じんけん教室担当の委員には、事前の十分な打ち合わせは欠かせません。

岐阜市には、50を超える公立保育園があり、年間10園程度の実施ではとても対応できませんが、人権教室を希望する園と調整しながら実施しています

実施後の成果と課題を確かめる。

～実施後のアンケートを実施してきました～

じんけん教室を実施した後、こどもたちからの感想や意見を聞くことはなかなかできないため、「今日のじんけん教室はどうだったのかな」という不安がありました。

そこで、今年度は、園長先生や保育士の方にアンケートをお願いし、じんけん教室実施について、お声をお聞きすることにしました。



保育園・保育所・こども園・幼稚園における
「じんけん教室」実施アンケート

実施日(12月10日 火曜日)
園名()

- 園児には、「人権」という抽象的でなかなか理解しがたい言葉、概念ですが、今回の「じんけん教室」についてどのような感想を持たれましたでしょうか。
「人権」と聞くとき難しく感じますが、子どもにもわかりやすく「みんなはみんな同じ」といってあげると、「どの子どもみんな同じ」とも理解できました。DVDでは歌に合わせて内容を覚えていくことができ、楽しく学べたと思います。
- 「じんけん教室」では左のような展開で実施しましたが、園児たちには無理はなかったでしょうか。
DVDの両面や読み聞かせなどですが、子どもにも興味をもち、内容を覚えていくことができました。歌は何か覚えやすいのかと聞かれました。歌は何か覚えやすいのかと聞かれました。
- 絵本の読み聞かせ等は、園ではよくある活動(学習)かと思いますが、私としてはまだ新鮮です。絵本の選択(難易度等)、読み聞かせのスキル等はどうか。
内容は子どもの興味に合ったもので、よく見えました。大きな声で、はっきりと聞こえるように話をしました。子どもたちも集中してよく聞くことができました。
- 人権を考えるDVDは、子どもたちにとって、興味、関心、わかりやすく、長さなどはどうか。
歌があり、集中して見ることができました。絵本はさらに、見るきっかけと作る、わかりやすさがありました。
- 全体を通してのご感想
難しい内容をわかりやすく伝えて下さり、保育士としても大変勉強になりました。子どもたちも「人権」を考えるきっかけになりました。ありがとうございました。今後の活動の参考とさせていただきます。

送信先FAX 岐阜地方方法務局人権擁護課 058-245-6904



～アンケートより～

★「人権」と聞くと難しく感じますが
こどもたちにもわかりやすく、「みんなにやさしくなること」「いいよって言ってあげる！」「どの子どもみんな同じ」etc 理解したようです。・・・繰り返し「じんけん教室」での学びが身につくので、積み重ねていきたい。

★難しい内容を分かりやすく伝えてくださり、保育士としても大変勉強になりました。こどもたちも「人権」を考えるきっかけになったと思います。

★内容が、こどもの興味に合っていたので、よく見ていました。こどもたちも集中して聴くことができました。

- ★歌、大型絵本の読み聞かせ、DVD 等いろいろな活動があったので、子どもたちは楽しく活動できた。
- ★絵本やエプロンシアターは、楽しく興味をもって参加できた。マイクがあるとよりよかったのではないかと。DVD は、キャラクターがかわいらしく、内容も理解しやすかった。時間的にも適当であった。
- ★人権という言葉は難しいですが、みんなで分け合うことで、みんなが幸せになれること、どんな子でも一番になれるよ、他の子のよいところを見つけること、「大丈夫だよ」「がんばれ」「ありがとう」などのことばをかけてあげられることの大切さが、わかりやすくて良かった。年長児たちと、ちょうどそんなことを話し合っていたところです。よい学習の機会でした。
- ★いろいろな表現で、人権について教えていただいてよかった。
- ★「じんけん」という難しく、よくわからない言葉、でも何だか大切そうな言葉、しっかりと聞いて覚えようとするこどもの姿を感じました。年齢が低いと言って、むやみにやさしい、平易な言葉にしなくてもよいと思います。内容を通して理解していたと感じました。
- ★自分がとても大切、同じように他の子どもとても大切という内容の題材があるといい（なかなか良い絵本に出合えない）。
- ★委員さん方のアドリブが上手で、こどもたちを常に引きつけていられて、感心しました、また子どもたちの目を見て話すことの大切さを学びました歌、大型絵本の読み聞かせ、DVD 等いろいろな活動があったので、こどもたちは楽しく活動できた。
- ★いろいろな表現で、人権について教えていただいてよかった。
- ★最後にミナモダンスができて、全員参加の活動で良かった。



令和6年度は「みんないちばん！」のDVDを使用しました